

30年度大岡小学校 3年3組 クラスの学びを発信します！

おりがみで笑顔の輪を広げよう

～折り紙博士になりたいな～

3年生の目標と学級目標を話しあう中で、「地域の人ともっと関わっていききたい」「あきらめずにチャレンジしたい」などの思いが出てきました。また、中休みぴょんぴょんガエルを作り、遊ぶ子もいました。社会科の「まちたんけん」を通して、弘明寺のまちにはお年寄りの方が他の区に比べて多いことに気づき、お年寄りの方と交流したいという思いも膨らみました。このような思いからもっと工夫したい、お年寄りの方と楽しく遊びたい、交流したいという願いへと広がり「おりがみ」で単元が立ち上がりました。

子ども達は、交流する前にまずおりがみのことをよく知らなくてはならないと考えました。そこで折り紙博士を目指して、いろいろなものを折り紙で折れるようになるために折り方を調べたり、実際に折る練習をしたりしました。その中でも、まず「つる」をクラス全員が折れるようになるという目標を立てました。なぜ、「つる」かというと、昔からおりがみで「つる」は折られていたと子どもがおばあちゃんから聞いたとクラスに話しました。そこで、伝承作品である「つる」を折れなくてはならないと考えました。



子ども達の目指す「つる」は羽ピーン、しっぽピーン、頭ピーンの見た目の美しい「つる」でした。しかも3分以内で折れるようになることも目標でした。目標に向かって中休みも練習する子、お家で何度も練習する子、折れるようになった子は折れない子に教えてあげる場面も見られました。そして、ようやくクラスの全員が「つる」を折れるようになりました。

また、おりがみ専門家の方にも教室に来ていただき、おりがみ教室をお願いしました。「つる」きれいにおるためのコツや、自分たちが知らないものの折り方や、おりがみを折るには「根気、本気、やる気」の三つの気が大切であることなど様々なことを教わり、折り紙の世界観を広げていました。

また、夏休み前には、作品作りとしての折り紙の楽しさの他に「遊べるおりがみ」についても調べたり、実際に体験してみたりしました。「この遊びならお年寄りの方にも安心して遊んでもらえるな。」などとお年寄りの方との交流を目指して、「遊べるおりがみ」を検討しました。

今後は、お年寄りの方との交流を目標にして、どんなものを一緒に作るのかや、どの「遊べるおりがみ」で交流するのかなど計画を立てながら活動していきたいと思えます。

